

胃がん検診の内視鏡検査に関する条件調査集計結果について

1 国指針による胃内視鏡検査をがん検診として実施する意向があるか

- ア 実施したい . . . 3 市町村
 イ 実施したいが困難 . . . 19 市町村
 ウ 実施しない . . . 3 市町村

- ・ 秋田市、横手市、八郎潟町が「実施したい」と回答した。
- ・ 秋田市は平成31年度から実施予定であり、他 2 市町は実施時期は未定としている。

2 胃内視鏡検診運営委員会の設置について（複数回答あり）

- ア 単独で設置したい . . . 2 市町村
 イ 広域（郡市単位）で設置したい . . . 6 市町村
 ウ 広域（全県単位）で設置したい . . . 18 市町村

- ・ 秋田市と横手市が単独設置を希望している。
- ・ 秋田市は将来的には広域設置を希望しており、横手市は単独設置に向けて医師会と協議中である。
- ・ ノウハウ不足、医療機関不足、マンパワー不足等の理由により、他市町村は広域設置を希望している。

3 読影委員会の設置について（複数回答あり）

- ア 単独で設置したい . . . 1 市町村
 イ 広域（郡市単位）で設置したい . . . 6 市町村
 ウ 広域（全県単位）で設置したい . . . 20 市町村

- ・ 2 と同様の結果となった。

4 住民ニーズの把握について

- ア 実施した . . . 2 市町村
 イ 今後実施予定 . . . 2 市町村
 ウ 実施しない . . . 21 市町村

- ・ 横手市と鹿角市が「実施した」と回答した。

5 対応できる医療機関の把握

ア	実施した	・・・	1 市町村
イ	今後実施予定	・・・	6 市町村
ウ	実施しない	・・・	19市町村

- ・ 横手市が「実施した」と回答した。
- ・ 秋田市は平成30年度に実施予定。

■ その他実施上の課題

- ・ がん検診の大部分を秋田県総合保健事業団に委託して実施しており、事業団とは、近い将来にエックス線検査は実施できなくなる（検査バスの更新、読影医の確保等）との認識で一致しており、胃内視鏡検査の導入は必須の状況ととらえています。（秋田市）
- ・ 医療機関を確保でき、二重読影と検査結果通知の作成を秋田県総合保健事業団で担ってもらえれば単独で実施可能ですが、県内の状況は、実施できない市町村の方が多いと思われるので、全県統一した方法で進めていただきたい。（秋田市）
- ・ 胃内視鏡検査導入に当たっての県内市町村の状況を踏まえた上での、県の考えや将来的な方向性などをお知らせいただきたい。（秋田市）
- ・ 医師の高齢化や医師不足の中、実施できる病院や医療機関の確保が難しい。（大館市）
- ・ X線検査との重複受診を防ぐための対策がとれるか（内視鏡は医療機関での検診のため、対象者の申告等のみでの確認になるのか、事前申し込み制にし、管理するのか等）。（男鹿市）
- ・ 侵襲的な検査のため、万が一偶発症（穿孔など）が生じた場合に、保障はあるのか。（男鹿市）
- ・ （市の）財政上予算がとれるか（国や県のガイドラインがないと困難）。（男鹿市）
- ・ 医療機関の数が少ないため、マニュアルが求める実施が困難である。（鹿角市）
- ・ 実施体制、前提条件から市で検討していくことは困難である。県レベルで消化器がん部会、県医師会、検診協議会等との協議を進めていただきたい。医師不足の問題、検診体制の整備等の課題が散在している。（由利本荘市）

- ・ 市内においては、基準を満たす胃内視鏡検査を実施できる病院がないため、住民のニーズはあっても体制が整わないため実施できないのが現状です。(潟上市)
- ・ 集団検診では実施不可能であり、医療機関との契約が必要となる。
また、一定の要件を満たす検査医が必要となる。(仙北市)
- ・ 胃内視鏡検診運営委員会及び読影委員会の設置について、市単独では難しい。(仙北市)
- ・ 医療機関が限られていることから、県に取りまとめていただき実施している子宮頸がん検診（統一受診券等）のように、全県の医療機関で受診可能であれば、住民も受けやすく受診率向上にもつながるのではと考える。(小坂町)
- ・ 管内医療機関だけでなく、中央地区の医療機関を受診する住民も多いため、広域での実施を望みます。(上小阿仁村)
- ・ 県主導で行ってほしいです。(井川町)
- ・ 検診料金の増額による受診者の検診離れの可能性。(羽後町)
- ・ 委託料、運営委員会への負担金など財政的な問題。(羽後町)
- ・ 受診間隔が異なる内視鏡とバリウム検査の対象者の選別や受診勧奨などの事務的な問題。(羽後町)